

季節の花便り

森の妖精「オオウメガサソウ」

“「ひたちなか自然の森」植物保護区の特別開放”

平成 19 年 6 月 16 日(土)～6 月 24 日(日)

について

謹啓 向暑の候 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、森の妖精と称される「オオウメガサソウ」が園内で開花し始めました。(開花確認は6月6日(水))

ひたち海浜公園に面する太平洋沖合は、寒流と暖流がぶつかる場所であることから、園内には北限或いは南限に近い生物が混在しています。その1つが、今回紹介するオオウメガサソウです。

オオウメガサソウは本公園が世界の南限地とされ、茨城県版レッドデータブックでは絶滅危惧種に指定され、環境省レッドデータブックでも準絶滅危惧種に指定されているなど大変貴重な植物です。この度、この貴重な植物を育んだ自然環境をより多くの方に観ていただき、自然への関心を深めてもらおうと、通常は植物保護区として立ち入りを禁止している区域をオオウメガサソウの開花に合わせて、平成 19 年 6 月 16 日(土)～6 月 24 日(日)(6 月 18 日(月)休園日は除く)の間、特別開放いたします。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹言



撮影:平成18年6月

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4
ひたち公園管理センター企画課 穂積・加藤・渡辺
電話(029)265-9005 FAX(029)265-9339
お客様問い合わせ番号(029)265-9001
ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

森の妖精「オオウメガサソウ」について

“「ひたちなか自然の森」植物保護区の特別開放”

1. 目的

「ひたちなか自然の森」の遊歩道の一部は、野生植物の保護・育成のため、通常は来園者の立ち入りを禁止している植物保護区となっています。そのエリアにおいて現在、オオウメガサソウをはじめ、ウメガサソウ、イチヤクソウ等の稀少植物が開花期を迎えています。

今回、このエリアの貴重な自然環境をより多くの方々に観ていただき、自然への関心を深めていただくことを目的として、特別開放を実施するものです。

2. 期間

平成 19 年 6 月 16 日(土) ~ 6 月 24 日(日)
(但し、6 月 18 日(月)休園日は除く)

3. 場所

「ひたちなか自然の森」(別図参照)

4. その他

「ひたちなか自然の森」入口(別図参照)に受付テントを設置しますので、受付後、観察ルートに従って進んでいただきます。

また、「茨城生物の会」の方々の協力により、定期的に1日7回、土日のみ8回、所要時間40分のガイドツアーを行います。1回のガイドツアーの催行人数は30名です。なお特別開放区域への立入りは、同エリアへの負担軽減を考慮して、一度に入ることができる人数を30名に制限していますので、状況によりお待ちいただくことがあります。



昨年度の特別開放時の様子



昨年度の特別開放時の様子

オオウメガサソウについて

オオウメガサソウはイチヤクソウ科の多年生の草状小低木で、北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布しており、日本では、北海道、青森県とひたち海浜公園などに自生しています。

日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壤に、地下茎を伸ばして生育しています。オオウメガサソウは、環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧種、茨城県レッドデータブックでは絶滅危惧種に指定されている植物であり、海浜公園が世界の南限地となっています。

名前の由来は、梅の花に似た花を咲かせるため「ウメガサ」の名が付き、よく似た「ウメガサソウ」より大きいことから「オオウメガサソウ」になりました。例年6月から7月の梅雨の時期に花が咲きますが、ひとつの個体が花をつけるようになるまでには5～7年かかると言われています。

とるのは写真だけにしてもらいたいものです。（「都市公園法」で、動植物の採取は禁止されています。）



「オオウメガサソウ」 撮影：平成18年6月

【開花しているその他の植物】

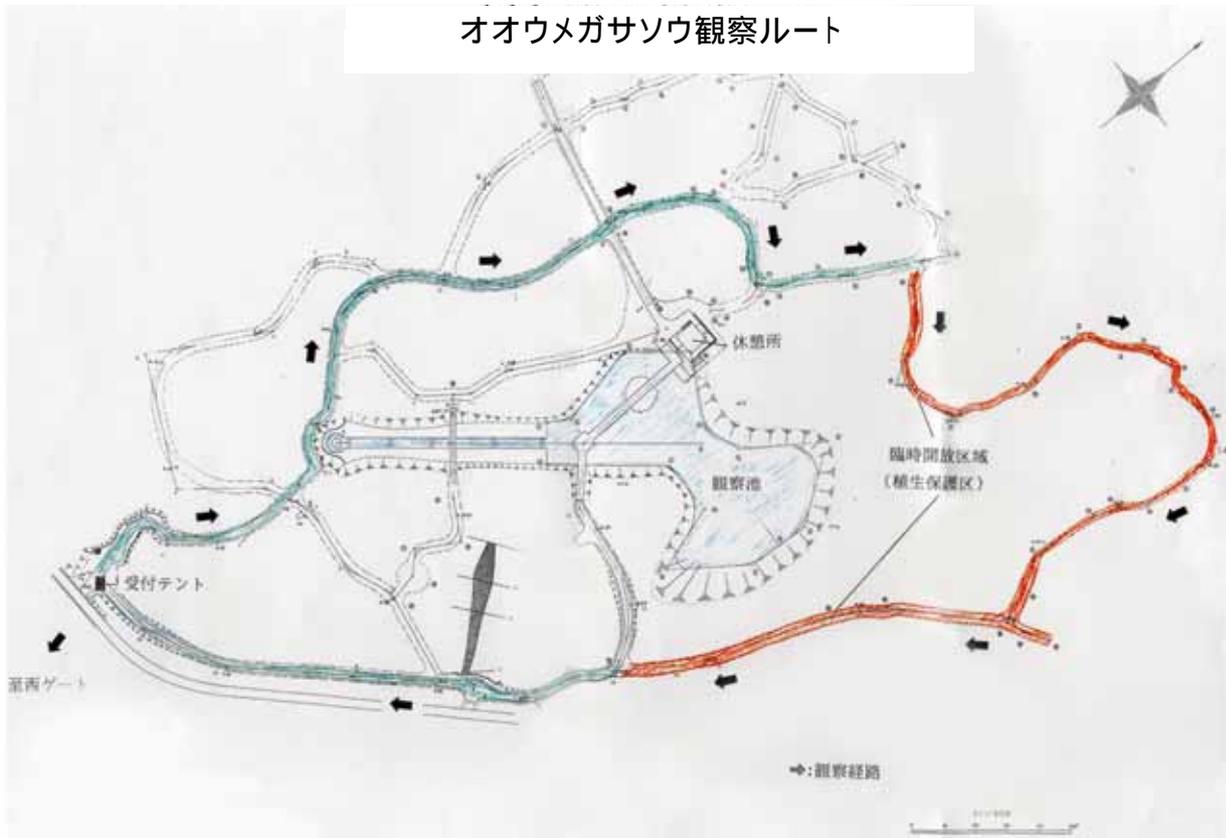


「ウメガサソウ」 撮影：平成18年6月



「イチヤクソウ」 撮影：平成18年6月

オオウメガサソウ観察ルート



受付場所

